

新潟県立長岡工業高等学校同窓会東京支部会報



# 東京支部だより

第 7 号

〒145-0064

東京都大田区上池台 2-1-5-505

発行人：支部会長 並木 政治

編 集：会報編集委員会

## ご挨拶

同窓会東京支部 会長 並木 政治 (28W)



東京支部会員の皆様には、お元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。

昨年より不況の波が押し寄せ、我が工業立国日本もリストラの嵐に見舞われ、内定取消し、派遣切り等、職場を失う人が続出しています。会員各位の中にも何らかの関連でお困りの人も居られると思われ、心の痛む問題ですが、一日も早い回復が望まれます。

昨年の支部総会に多数のご出席を頂き、和やかな楽しい語らいの時間を過ごして頂いたことは、参加した各位の同窓会に暖かい思い遣りの気持ちと感謝申し上げます。

尚、役員各位の熱心な運営に、参加した多くの人達からお褒めの言葉と激励を頂きました。改めてご出席の会員の皆さんと、運営に当たった役員諸氏に深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

同窓会活動も同好会を充足して会員同志の親睦も図られ、良い方向に向かっていますが、物心ともにご協力頂いた諸先輩が少なくなり、若い人の入会が無い現状では先行きが心配されますが、少なくとも数年か、数十年か皆の力を合わせ、同窓会を盛り上げて行きましょう。会員の皆さんには年千円の会費をお願いし同窓会の運営に当たっていますが、年々、会費も減少して会の運営にも支障をきたしています。会員の皆様には会の窮状をご理解頂き、暖かいご支援ご協力の程お願い致します。

最後に皆様方の温情溢れる、ご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

同窓会東京支部 副会長 樋口 昭 (29E)



薫風青天の空に鯉躍る日々、会員各位、スギ花粉に難儀された方々も居られるかと思いますが、ご壮健のこととお慶び申し上げます。

昨今の世相を観るに学生の大麻栽培、無差別殺人、振込め詐欺等戦前生まれの私には、何に起因する欲望か、ここまで自制心を失うものなのか理解出来ません。「親子」「友人」「人與人」等の「絆」が失われた結果であると思ひ憂慮するばかりです。

長工同窓会の「絆」「組織力」には他校の同窓会が驚嘆し、「開催される同窓会の盛大さ」も羨ましがられております。これは正に長工の誇りで有ります。

先般、S36年電気卒主催の芋煮会とLMCのCamp(牡丹鍋・鹿鍋賞味)に参加致しました時の話題は専ら長工同窓会の活性化のことで有りました。これこそ長工同窓生の「絆」の強さを象徴するものと思います。

世代を越えた同好の会を多く結成して、これ等を通じて長工同窓会の価値観を共有し「絆」をより強くすることが「同窓会の活性化」に繋がるものと考えます。

本年も待望の「長工同窓会東京支部総会」の時と成りました。母校創立107年を誇り、110周年を見据えた楽しい総会に成ります様、会員各位の多数ご出席をお願い致します。

私も副支部長として非力ではありますが並木支部長を補佐し同窓会の発展に努めて参ります。諸兄の更なるご指導ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら会員諸兄の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



## 東京支部役員登場

### 長工同窓会東京支部役員として

支部理事 原 勝英 (46M)



私が同窓会と関わり始めたのは、今から二十五年くらい前、同窓会に出席したところ、当時機械会会長の井口様より会の仕事を手伝って欲しいと言う話があり、それから今日までできました。

当時、同窓会は、機械会、電気会、染織会、工業化学会、電子会、各科ごとに別れており各科よりの拠出金で同窓会を運営しておりました。私は、出身高を聞かれたら、長岡工業高等学校と答えており、科までは言いません。

そこで、我々若い人達は当時会合がある度、同窓会を一本化して欲しいと言う事を、幹部の役員の方をお願いをしてまいりました。長い時間がかかりましたが、平成十四年より一本化されました。

今日、同窓会は衰退の一途をたどっており、今後の運営が厳しくなっていくと思います。

最後に、会員の皆様にもご協力いただき、同窓会を盛りあげていきたいと思ひます。



### 鎌倉からの発信

支部理事 杉本 久栄 (35 E)



昭和35年電気科卒の杉本です。出身地は現在の南魚沼市塩沢です。会社退職後の現在は神奈川県鎌倉の山間に住んで畑を耕したり、ITで市民に奉仕するという事で、パソコン教室やホームページ作成を請け負ったりしている「NPO法人鎌倉シチズンネット」でパソコン教室や他のNPOのパソコンのメンテナンスなどを行っています。

また、家で使用している2台のパソコンは自作機です。その他にノートパソコンを1台補助に使用して、自分のホームページ(鎌倉の風景や鎌倉で見る草花等の紹介ページと旅をした時の風景や花等の紹介ページ)を2004年に開設し毎月更新をしています。

同窓会東京支部では1昨年長工東京支部のホームページの作成とその運用を担当しています。ホームページについては別の欄で紹介します。

ホームページのURLは下記の通りですので、皆様にご覧頂きたいと思ひます。

同窓会東京支部ホームページ URL ; <http://choko-tokyo.sakura.ne.jp/>

杉本ホームページ URL ; <http://www1.kamakuranet.ne.jp/sugisan/>



### 思いつくままに

支部理事 粉川 博 (43 E)



#### ★長工生の頃の思い出

兎に角応援練習が真っ先です。お陰で今でも応援歌は歌えます。

#### ★S43年卒業後

入社して先輩に飲みたくさん連れて行って頂きました。今は後輩を誘っても「どうしても行かなければなりませんか？」

#### ★現在の会社内の長工会

まだ現役です。「フジノン」には長工生が22名います。企業内の同窓会から東京支部に参加をしている形です。1回/年のペースで旧交を温めています。会社は大宮にあります但定年後は故郷にUターンする人も増えています。写真ブームに乗って長野で撮影会の先生をしている先輩もいらっしやいます。

#### ★自分が凝っているもの

ハイキング+温泉です。これは可能な限りセットで楽しんでいます。相棒は家内ですが、いつの間にか家内の友人と一緒に行くようになり全員が集まると20名になります。

#### ★これからのこと

生涯勉強！ 生涯現役！ この先輩の言葉を目指しています。

## 会員だより(平成 19 年度 70 歳表彰者)



今年は、22 名の方が 70 歳功労者表彰を受けられました。下記に代表して 3 名の方にご執筆頂きました。誠にありがとうございました。これからも健康にご留意され、ますますのご活躍を祈念いたします。



### 長寿の祝い事での思い出

片桐謙一 (31W)

昨年七月の平成二十年度長工東京支部総会において、古希の祝いの記念品を頂き、大変感謝をしております。ありがとうございました。例年の総会で行われた七十才功労者表彰のセレモニーでこれほど多数の同期生が、雛壇にあがることが出来たのは、過去なかった事でしょう。十年前還暦の祝いを兼ねた紡織科のクラス会を越後湯沢のホテル井仙で、見附の故山谷君が作成した赤いベストを全員が着用し、壇上ではしゃいだことなど(今回の表彰者と顔ぶれが違いますが)つい最近のように思い出します。昨年、町内の敬老会に出席し、周りの長老から、あなたはほんとうに七十才ですかと冷やかされ、こそばゆい思いをしました。とにかく皆な仲間は元気です。

私達は戦中戦後の混乱期と高度成長期を経て 70 年を迎える事が出来ました。現役を離れた今日、皆それぞれ、趣味にボランティアにと、人生の生きがいを見つけてがんばっています。昨今、何かと高齢化社会が話題となっていますが、他人に迷惑をかけず、メタボを気にしながら、次の節目の喜寿まで、元気でいきたいと思っています。



### 古希過ぎて「母校への思い出」

近藤 宗一 (31E)

平成 15 年の東京支部便りの創刊号の表紙に懐かしい母校の旧校舎や往時の盛田学校長のお写真と色紙に記されている校訓があり、自分がこれまで携わった仕事等に校訓を生かして来たか改めて反省させられました。

**\*校訓：「物を作るには腕で作らず、精神(エスプリ)で作れ」**

平成 14 年 1 月の母校 100 周年記念には、同級諸氏と卒業後初めて母校の門をくぐり、式典へ参加すると共に校内の展示や新同窓会館を見学しましたが、当日の寒さには参りました。

その後、懇親会迄の空き時間に同級の有志と母校発祥の地「村松工業学校」にも足を延ばし見学してきました。学校は現在村松高校として利用され昔の姿は殆どありませんが、校門の左脇に在る「悠久の松」の雄姿とレンガ造りの門が残っており、100 年前の母校に想いを馳せ皆で記念撮影をしたことも忘れ難い思い出の一つです。

私は、15 年前から始めた趣味のボウリングに家族と共に熱中し、平成 19 年 8 月所沢スターレーンのシニア・レディース・リーグ戦で夢に見た「パーフェクト」を達成しました。その瞬間には、参加の皆さんから温かい声援と拍手で祝福を受け、感激を噛み締めました。本当に夢を持ち続けた甲斐があり、これからも健康維持の為、スポーツ・ボウリングを楽しみたいと思います。

最後に古希のお祝いをして頂いた同窓諸兄の皆様に感謝申し上げ、今後も「長工同窓の絆」を大切に、益々のご発展を祈念致します。



### 転勤四方山ばなし

柳沼正榮 (31M)

70 歳表彰をいただきましてありがとうございました。在校時の思い出もたくさんありましたが、趣向をかえて卒業後の事を綴ってみました。

同窓生諸兄には、サラリーマン生活をご経験された方は、多数おいでのことと思います。私は四十四年間の会社勤めで、七回転勤し、うち二回単身赴任しました。今回は特に印象に残ったことを書いてみます。

その一、最初の転勤は入社十年目で、新潟の工場から川崎の工場へ行くことになり、家族は家内、生まれて十ヶ月の娘、家内の母。四人で当時の国鉄の駅から汽車で出発しました。駅のホームで多数のお見送り、駅のスピーカーから「蛍の光」のメロデーが流れて、涙が止まりませんでした。

その二、会津の三泣き。(単身でした) 会津への転勤を命ぜられて、行きたくないと泣き、行ってみたら会津人の人情に泣き、会津から去る時に泣く。まさにその通りでした。

紙面の都合もあり、「ヨダキイ」(大分の方言で疲れた) のでこの辺で筆を置きます。



## 同好会活動報告

### 登山同好会

Reporter 梶山實 (36E)

LMC (レミック Liberty Mountain Club) は東京支部の登山同好会で会長(隊長) 樋口昭 (29E)、リーダー川澄 昂(38E)、メンバーに E36、E38 を中心に約 15 名で構成され、会の結成は平成 15 年 8 月 2 日谷川岳登山の 5 名から始まり、今年で 6 年目に至りました。活動は年間 8~9 回程度、会員の体力に合った登山やお酒の入る楽しみ会を行っている。

2008 年の例では、1 月高尾山(新年登山)、2 月八ヶ岳(冬山訓練)、3 月万座スキー、上野公園お花見会、4 月八ヶ岳(2 月の再挑戦)、6 月しし鍋会、7 月平ヶ岳、(百名山)、9 月火打山・妙高山(百名山)、10 月芋煮会、12 月七面山(忘年登山) などがある。

会の活動はシニア向けで「ゆとりと安全」をモットーに、山を楽しみ、歩きを楽しみ、酒を楽しむ山の会です。

新年山行(2009-1-12 大山) では、樋口会長が杜氏として醸造された「超空」1 本を各自に頂けることもあり、多くの酒豪が集まる。酒を楽しむ会も、上野のお花見、しし鍋会、芋煮会などがあり、ここだけ参加する方もおります。これからも、是非、沢山の方の参加を期待している。参加も自分の体力に合った企画を選択することが出来ます。企画内容は LMC ホームページ (<http://www.lets-happy.net/LMC-HP/>) をご覧下さい。入会は随時 OK です。希望者は E38 川澄 (t\_kawasumi0403@yahoo.co.jp) に連絡して下さい。お待ちしております。



樋口杜氏の酒

1 月：高尾山(新年山行)



7 月：平ヶ岳(百名山)



9 月：妙高山(百名山)



12 月：七面山(忘年山行)



### 散歩クラブ

幹事 小島 洋 (37e)

散歩クラブは昨年夏の猛暑と豪雨により休会とし、春の第 4 回、秋の第 5 回を行いました。

第 4 回は 4 月に 9 名の参加を得て、通称、鎌倉アルプスと呼ばれるハイキングコースを鎌倉時代に思いを馳せての散歩を行いました。途中、寺社の参拝、史跡の見学、昼時にはや源氏山公園でのお花見を行い、終了後の反省会は横浜・中華街にて楽しい反省会を行いました。

第 5 回は 12 月に 8 名の参加を得て、都心の秋を求めて神宮外苑から明治神宮を散歩しました。銀杏は前日の嵐で大分散っていましたが、当日は晴天に恵まれてさわやかな散策を楽しみました。途中、表参道の新潟のアンテナショップ「新潟ネスパス」で昼食を摂り、故郷のお土産を買い求めました。明治神宮では参拝の後、明治神宮御苑を散策し、都心の素晴らしい紅葉を堪能しました。反省会は新宿で行いました。



散歩クラブでは皆様の入会をお待ちしております。散歩の参加は自由で、都合のつく企画のみ参加できます。入会希望の方は幹事までご連絡ください。

E-Mail : h-kojima@star.ocn.ne.jp



## ジョギング同好会

リーダー 成田 修 (44M)

今年も同好会の年2回の恒例イベントである三浦マラソン大会が生憎の雨の中で開催され、同好会からも大会参加者4名(10km:2名、5km:2名)の参加と応援参加者5名の総勢9名の参加を頂き実施されました。

昨今、景気が超低迷する中、各地で実施されている市民マラソン大会は確実に参加者が増えているようであり、本大会も年々参加者が増え、主催者側の発表では今年の大会参加者は1万4千人を超えているとのことでした。大会参加者4名の結果は日頃の練習の成果もあり、夫々の区間を制限時間内で無事完走し、完走証を手に入れました。

大会終了後は同好会旗を入れて大会参加者、応援者全員で記念撮影をするのが恒例行事なのですが、冷えた体を速やかに暖めるべく、三浦海岸駅近くの鮎処で懇親会を開催し、応援に駆けつけてくれた先輩に感謝しつつ、海の幸に舌鼓を打ち、美味しい酒を頂いたことは言うまでもありません。ところで、三浦海岸駅前の早咲きの河津桜が昨年に比べて花より葉が目立っていたのが少し残念でした。隠れジョガーの皆さん、一緒に走りませんか。随時ご入会を歓迎致します。

参加希望者は、成田 (on-funrun@ss.em-net.ne.jp) に連絡して下さい。お待ちしております。



## 東京支部ホームページ開設

広報 HP 担当理事 杉本久栄 (35E)

同会東京支部の皆様我が会のホームページをご存知ですか?一昨年の9月に開設しました。URLは下記の通りですので、インターネット環境をお持ちの方はぜひご覧ください。

このホームページは会員相互を結ぶものであり、またそう成るように努めています。内容はイベントがあった時や、会員の皆様からの情報があった時には随時更新をしています。総会懇親会のお知らせや、毎年の総会懇親会の模様、同好会の活動状況、会員の皆様、学校長や本部長からの投稿等も掲載されています。

また、会員の皆様が開設しているホームページもリンクしていますので、これもぜひご覧に成って頂きたいと思っています。また、ご自分のホームページやブログをお持ちの方はぜひお知らせください。リンク致します。

皆様からの情報があれば即掲載したいと考えていますので、同級会、関東地区での仲間の情報、ご意見等を下記のメールアドレスまでご連絡ください。

ホームページURL ; <http://choko-tokyo.sakura.ne.jp/> 連絡用メールアドレス ; kjsugimoto@gmail.com



## 会員からの特別寄稿

### 役員退任にあたって

支部理事 片桐 八十八 (30M)

まずは東京支部だより第7号発行誠におめでとうございます。思い起こせば7年前、各科の同窓会を統一し支部の記録担当を引き受けた際、故中野前支部長と東京支部の活性化について個別に議論しました。その時に私が提言したのが、会員の心と心を紡ぐ会報の発行でした。そして、私が放送大学同窓会事務局として、会報発行を担当していた経験から、資料を持参し説明をしたところ、君が企画発行するようこの指示がありました。大変なことを、引き受けてしまったと思いながらも、多少の経験があったので会報が立ち上がったなら、後継者に引き継いでさっさと引退する予定でした。すでにすばらしい後継者に恵まれ、前回の役員改選で、引退し損なってしまいましたが、1年前から現並木支部長に退任の意向を伝えて内諾を得ていました。

いま考えると、役員、会員諸氏並びに本部の役員、事務局の支援もいただき、記録・広報担当業務を遂行できたことに感謝しつつ、東京支部のますますの発展、活性化を願って役員退任の挨拶といたします。

さて、話は変わりますが、私は放送大学の学生として、23年間継続して在籍しています。もちろんこの間繰り返し卒業をしました。教養学部しかありませんが、6専攻あるので6回「卒業証書・学位記」なるものを授受し、6回卒業論文を書きました。もう入学する専攻もなくなったので、現在は、毎年入学し選科履修生として現在も学生をしています。当然ながら、年2回の期末試験も受け、取得単位は320単位に迫ろうとしています。また、学生の自主的なサークル活動の、カメラクラブに所属しています。

現役の40歳代で、学生となった当時は、リストラになった時の安全弁として、再就職を有利に進めるために、学位を取っておくことでした。その後、ハッピーリタイヤを迎えると、目的も変わり生涯学習を目指すこととなりました。今では生涯学習がライフワークとして、私の余った命の毎日だと思い励んでいます。

最近、よく学び、いろいろな趣味に没頭し、よく遊んでいます。学びも、趣味も、遊びもその内容はちがっても、すべて生涯学習としての共通の課題を抱えながら、進行していくことであることは間違いありません。

そして4年前から、中心となる趣味も溪流釣りから、写真へと替わりました。写真については、長工の写真部にも所属していましたが、結構お金のかかる趣味で、とても経済的に行けず、サッカー部に転向した悔しさが、今頃になってめらめらと、燃え上がり放送大学のカメラクラブに入会し活動を開始しました。

写真といっても、大変奥が深く、私の場合は、デジタル写真での作品作りに専念しています。ほとんどのカメラは、シャッターを押せば、ほどほどには写ります。でもここまでは、誰でも出来ることで、詳細は省略しますが、ここからが、パソコンとRAW現像ソフト、プリンターを使った作品作りが始まります。

毎日写真コンテストに入選した、下記の写真を紹介して、本記事を終わりにいたします。

【写真のタイトル；競泳 撮影地；八景島シーパラダイス 撮影日；平成20年10月22日】



平成 20 年度総会報告(写真集) 平成 20 年 7 月 5 日



受付風景



会場 ラ・バル・オーラム



支部長挨拶



来賓祝辞



副支部長挨拶



懇談風景



抽選会

アトラクション



(花咲ゆき美歌謡ショー)



(若波会による佐渡おけさ、相川音頭)



(山崎氏喇叭演奏)



### 住所不明者の情報収集のお願い



昨年の総会・懇親会に登録会員の皆様にご案内を発送しましたが、下記4名の案内状が宛先不明で戻ってきました。皆様の中で心当たりの方がおられましたら、長工同窓会東京支部役員あるいは名簿担当までご連絡ください。

No.	卒業年度	科別	氏名	本部コード	No.	卒業年度	科別	氏名	本部コード
1	昭 18	機械	佐野 和四郎	S18M016Z	3	昭 47	機械	岩渕 学	S47M006A
2	昭 42	機械	武田 春男	S42M023C	4	昭 50	機械	内山 富夫	S50M005C

名簿担当：〒261-0026 千葉県美浜区幕張西 3-5-9-204 大関 稔 Tel: 043-272-8897 Email: ozeki@cba.att.ne.jp

### 東京支部運営について

東京支部理事長 星野弘明 (30C)

東京支部会員の皆様、支部運営について日頃ご協力頂きありがとうございます。執行機関である役員会では、総会・懇親会に皆様にご参加頂いて、楽しく稔りある会を実施することを最大の目的として活動を行っております。

近年、支部会員数が年を追う毎に減少しており、それに伴い納入会費の総額も減少しております。このため一時、会費の値上げ等を検討しておりましたが、より多くの会員の方にご参加頂くため当面値上げせず、役員の方々に更なるボランティアを願い、外注等の費用削減や懇親会費用の見直しなどで乗り切る方針を確認致しました。

会員の皆様には、会員数を増やすため、同級会の集まりや日頃連絡を取り合っている同窓生に声を掛け、支部会員の増加にご協力頂けますようお願い致します。

尚、支部では総会・懇親会の他、同好会の行事も多数行っています。活動内容は「支部だより」に掲載されておりますので、参加希望の方は幹事まで連絡をとってください。

### 会費納入のお願いとお知らせ

\*本年度の東京支部の年会費は1,000円です。同封の振込用紙によりお支払いください。会費は支部の名簿管理、会報の発行、総会案内等の事務費に使われます。

\*手数料節約のため振込方法変更についてのお願い

振込用紙の所定欄に必要事項を記入し、郵便局のATMを利用して送金していただきますと払込手数料(加入者負担)が80円と大変節約できます。窓口の場合は120円かかります。お手数ですが、できるだけ郵便局のATMを利用いただき、年会費の目減りを少なくするようご協力をお願いします。

同窓会本部の会費の年会費は2,000円です。別途、本部から郵送の振り込み用紙でお支払い下さい。



- ◆ 今冬は厳しい寒さにさらされ、各地で大雪が降りました。春先は過去の平均気温を大幅に上回る気温となり、夏の天候が心配です。これも地球温暖化の影響でしょうか？各自がCO<sub>2</sub>の削減に努力しましょう。(HK)
- ◆ 米国のサブプライムローンの破綻に始まり、世界経済は百年に一度と言われる混乱状態です。また、新形エンゼルガの感染など世界は大変な状態です。生活・環境防衛に知恵を絞る毎日です、皆さん頑張りましょう。(HK)
- ◆ 同窓会活性化のため、編集や記事に関する皆さんのコメントをお待ちします。(編集委員一同)

編集委員コメント宛先 : 小島 洋 (TEL & FAX : 042-648-7250, Eメール h-kojima@star.ocn.ne.jp)